

## 周辺部と外郭道路外の鉄道駅を結ぶ系統の通過人員分析 (周辺部ターミナル接続系統の通過人員分析)

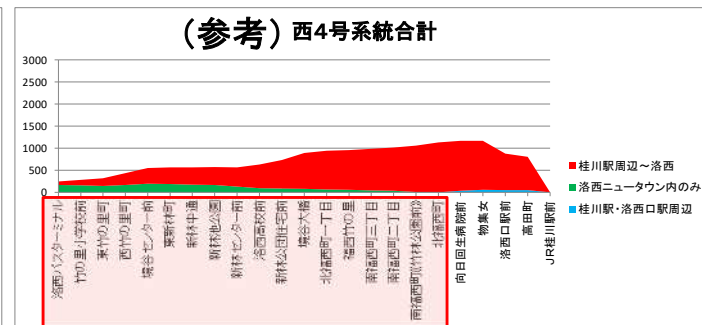
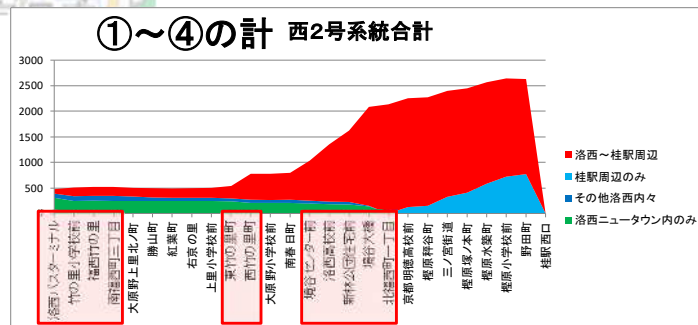
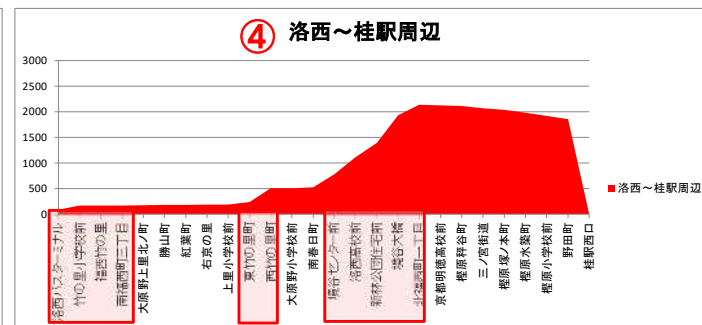
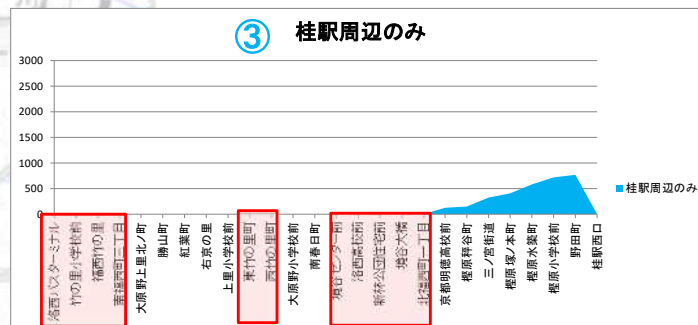
西2号系統  
の場合

桂駅と洛西ニュータウン内とのご利用が大部分を占め、  
桂駅と三ノ宮街道付近までのご利用も多い  
洛西ニュータウンの内側での移動が一定ある



数値: R03年通過人員(百人/日)

出典: 令和3年旅客流動調査



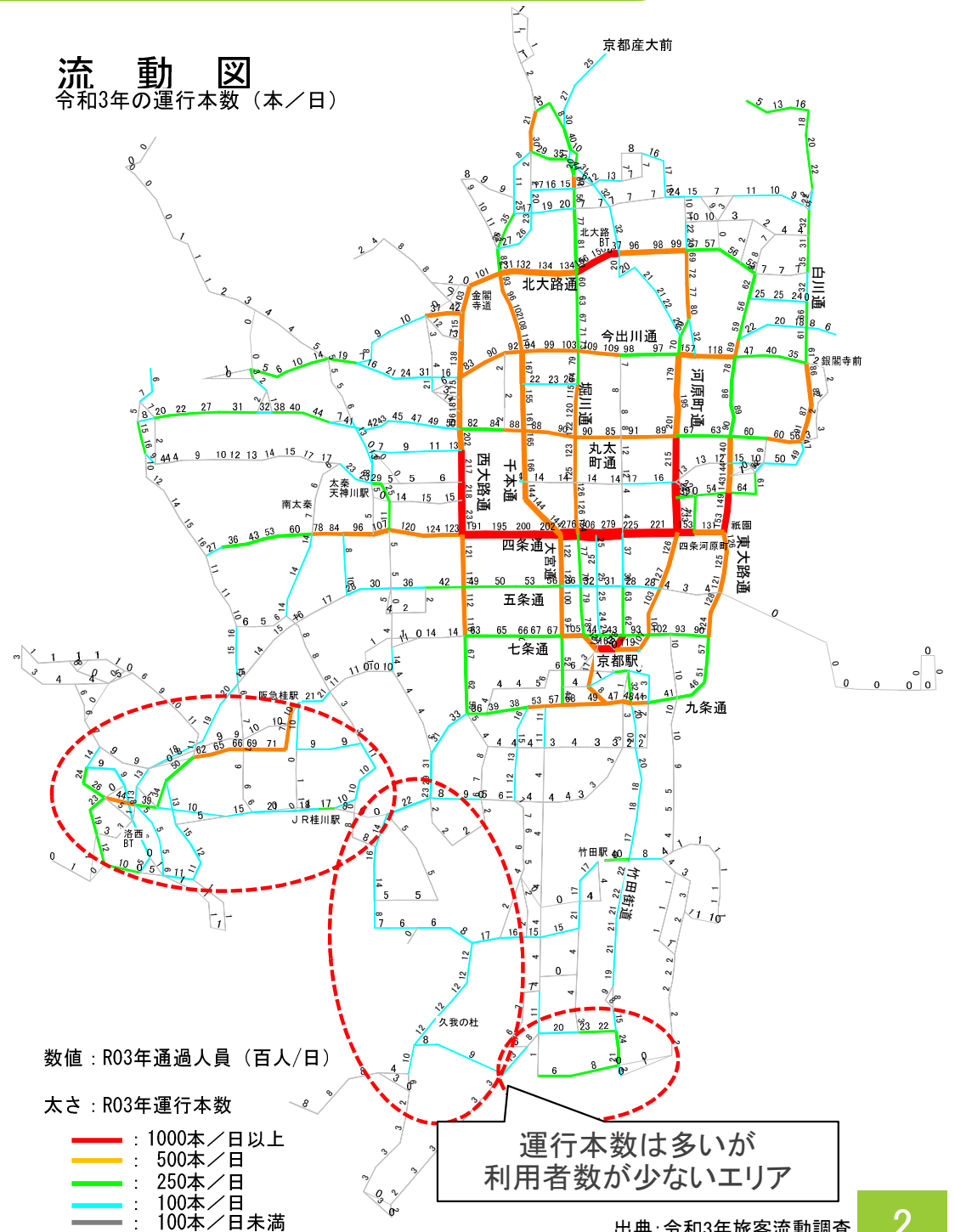
□ は洛西ニュータウン内のバス停

# 中心部の四条通などで 運行本数が多い

# 周辺部の一部で、運行 本数に対して利用者数の 少ないエリアがある

- 利用者の目的地である京都駅や四条界限、ターミナル駅等に近づくほど、運行本数は多くなる。特に、四条通、河原町通、西大路通等の一部で、1,000本以上のバスが運行している。
- 運行本数と通過人員（バス停間利用者数）を比べると、洛西エリアや南区の南西部、南東部などで、運行本数は100本以上あるが、利用者数が1,000人未満の区間が見られる。

流動図  
令和3年の運行本数（本／日）



## 周辺部の 1便当たり利用者数は 少ない

- 停留所間別の1便当たりの利用者数は、都心部では数値が大きいが、周辺部では小さい（少ない）エリアが目立つ結果となった。
- 特に洛西エリアや南区の南西部、南東部などで、小さい（少ない）結果となった。

